



特別展示  
名和晃平 Foam

2019年4月27日(土)～  
8月25日(日)

## 生命の根源を<sup>ほうふつ</sup>彷彿させる泡と光のインスタレーション

展覧会名	特別展示 名和晃平 Foam
会期	2019年4月27日(土)～8月25日(日)
開場時間	10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで)
休場日	月曜日(ただし4月29日、5月6日、7月15日、8月12日は開場)、5月7日(火)、7月16日(火)
会場	金沢21世紀美術館 展示室13
料金	無料
主催	金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]
助成	芸術文化振興基金 
協力	<sup>やまと</sup> 大和実業株式会社
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL076-220-2800

本資料に関するお問合せ

金沢21世紀美術館  
事業担当: 立松由美子 広報担当: 落合博晃、石川聡子  
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1  
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802  
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: [press@kanazawa21.jp](mailto:press@kanazawa21.jp)



## 展覧会について

名和晃平は本展において、泡と光のインスタレーション作品「Foam」を展示します。次々と終わりに湧き出る小さな泡が次第に寄り集まり、泡の集合体として有機的な構造を自律的に形成してゆく様子を表現します。生成と消滅というシンプルなプロセスを繰り返す個々の泡は、代謝や循環を支える細胞の本質的な振る舞いと類似しており、見る者に生命の根源を連想させます。



(Foam)  
installation view, "FUKAMI –une plongée dans l'esthétique japonaise",  
Hôtel Salomon de Rothschild, Paris, France, 2018  
soundscape: HARA Marihiko  
photo: OMOTE Nobutada | SANDWICH  
©NAWA Kohei

## 作家ステートメント

液体のわずかな振幅と共に、次々と終わりに湧き出る「Foam」。小さな泡は、次第に寄り集まって液面を覆い尽くし、泡の集合体として、有機的な構造を自律的に形成する。立ち上がったボリュームは、飽和し、膨らみ続け、時に萎えて地面に落ちる。

名和晃平

## 展覧会の特徴

## 世界的に活躍する彫刻家 名和晃平の作品を無料公開

透明なガラスビーズやプリズムシートなどの素材を用いて彫刻の固定概念を打ち破る作品を発表してきた名和晃平。先般はフランスのルーヴル美術館ピラミッド内に巨大彫刻「Throne」を展示し大きな話題となりました。本特別展示では、「あいちトリエンナーレ2013」で大きな反響を呼んだ作品「Foam」を最新バージョンで無料公開します。

### 暗闇に湧き出る泡が作り出す圧巻のインスタレーション 見る者に生命の誕生を思い起こさせます

細胞が代謝や循環を繰り返すように、次々と生まれ消えていく泡。これらの泡が集まり、光を与えられ、生命体を思わせる巨大な物体が現れ、原摩利彦氏によるサウンドスケープとのコラボレーションにより見る者を圧倒します。

## 作家プロフィール

## 名和晃平 (なわ こうへい)

彫刻家 / SANDWICH Inc. 主宰 / 京都造形芸術大学教授  
1975年生まれ。京都を拠点に活動。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程彫刻専攻修了。2009年、京都に創作のためのプラットフォーム「SANDWICH」を立ち上げる。独自の「PixCell」という概念を軸に、様々な素材とテクノロジーを駆使し、彫刻の新たな可能性を拓いている。近年は建築や舞台のプロジェクトにも取り組み、空間とアートを同時に生み出している。



photo: OMOTE Nobutada | SANDWICH

## 広報用画像

画像1、2を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム ▶ [https://www.kanazawa21.jp/form/press\\_image/](https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/)

## [使用条件]

※トリミングをご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイブのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。